

大日本塗料株式会社
第143期 定時株主総会／株主様からの事前のご質問に対する回答

(2026年6月17日掲載)

当社では、株主総会当日のご来場が難しい株主様より、インターネット上で事前にご質問を承りました。お受けしたご質問に対する要旨は、以下のとおりです。

【事前のご質問に対する回答要旨】

Q1	<p>中東情勢の不透明な状況が続き、TOPIX からの除外も懸念される中、現在の株価が支えられている要因はひとえに DOE5%の約束があるからだと感じています。</p> <p>今後不透明な状況が続いたり経営陣が変わるようなことがあったとしても、DOE5%は確実に実行してもらえるのでしょうか。</p>
A1	<p>次期中計最終年度となる 2029 年度までの到達を目標としている DOE5%につきましては、当社が安定的かつ継続的な株主還元を重視する姿勢を示す重要な方針です。短期的な業績変動に左右されにくい還元指標として採用しております。</p> <p>一方で、配当につきましては、各期の業績、財務状況、事業環境、投資計画等を総合的に勘案し、株主総会の決議を経て実施されるものです。したがって、将来にわたり無条件に保証されるものではありません。</p> <p>ただし、DOE5%の目標につきましては、現時点において当該方針を変更する予定はございません。仮に外部環境や経営体制に変化が生じた場合であっても、株主還元を経営上の重要課題と位置付ける考えに変わりはありません。</p> <p>今後も、財務健全性や成長投資とのバランスを確保しながら、安定的な株主還元の実現に努めてまいります。</p>

以上